

しずかな しずかな

ほんとうのクリスマスは
しずかな しずかな 出来事でした。

きらびやかな飾りもありません。
御馳走の並ぶ食卓もありません。
風の吹き込む古い馬小屋と牧草をのせた飼葉桶だけ。
人々の歓声も、お祝いのパレードもありません。
一晩泊まる小部屋さえも用意されなかったのです。

それでもクリスマスは起こりました。
それがほんとうのクリスマスでした。
しずかな しずかな クリスマス。

おさなごと出会ったとき
貧しい人は心が豊かになりました。
寂しい人はあたたかい気持ちになりました。
悲しんでいる人は慰められました。
おさなごが世に生まれると
自慢する人は小さくなりました。
偉ぶる人は自分が恥ずかしくなりました。
賞賛をあびていた人はむなしくなりました。

それがほんとうのクリスマス。
しずかな しずかな クリスマス。
でも、ほんとうに大切なものを
そのとき人々は心に知ることができました。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<クリスマス礼拝でのお願い>

つくし保育園のクリスマスページェントでは、幼い子どもたちが純粋な心で
イエスさまと出会う喜びに満たされてほしいと願っています。

スマホや写真、ビデオ撮影などはお控えください。演じる者も観る者も共に
心しずかに、救い主誕生の喜びと感謝を捧げたいと存じます。

